

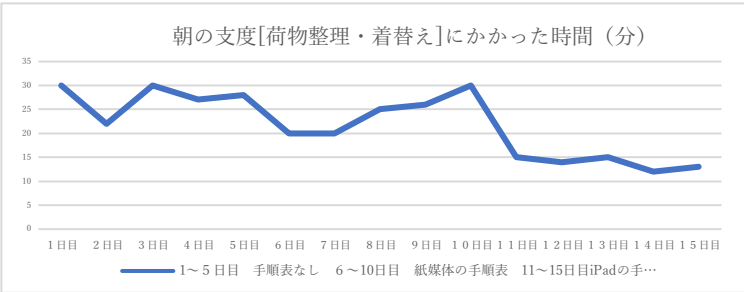




タイトル	iPadと一緒に見通しをもった学校生活へ！		
学 校 名	茨城県立水戸飯富特別支援学校	学部・学年	小学部 1 学年
教科名等 単元・題材名	日常生活の指導 「着替え・荷物の整理」		
児童生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児は男子 1 名。知的障害を伴う自閉症。 ・iPadで写真や動画を撮ることが好きで、家庭でも使用しているため操作にも慣れている。 ・平仮名、片仮名の清音はほぼ読むことができる。 ・納得がいけないことがあると、奇声を発したり、物を投げたりする。 ・一つの行動を終えると手が止まり、教師の指示を受けて次の行動をするため時間がかかる。 		
授業の目標	・やるべきことが分かり、自分で行動することができる。		
ICT 活用の ねらい	・写真やイラストで視覚的に、読み上げ機能で聴覚から、やるべきことが分かる。	主に活用した アプリなど	・ iPad ・ アプリ「Drop Talk」
授業における 支援	<p>○アプリ「Drop Talk」について</p>   <ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラスト付きの手順表を簡単に作成することができる。 ・終わった項目をタッチすると消えるように設定することで、全部終わると好きな画像や写真が現れるようにすることができる。 ・読み上げ機能があり、項目をタッチすると音声流れるように設定できる。 <p>○支援の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝と帰りの着替えと荷物の整理の時に使用した。 ・最初は、手順表の項目を一つずつ細かく作成し、慣れてきたら徐々に項目を減らした。 ・活動が全部終わったら、次の日の手順表の背景画像を児童と一緒に決めて設定した。 <p>○教科書の音読との比較（実証研究結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の着替えと荷物整理にかかった時間を計測した。 ・手順表なしの時と、紙媒体の手順表の時は日によってかかる時間の変動が大きい。 ・Drop Talkの手順表を使用した時は、時間が短く、変動が少ない。  <p>○学習の様子</p>   <p>(写真 1) (写真 2)</p>		
児童生徒の変容	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPadの手順表は終わった項目が消えるため、活動の終わりがよく分かり、一人で活動に取り組むことができた。 ・ タブレット端末等での活動を通して文字への興味が高まり、読むことや書くことに対しても意欲的に取り組むようになった。 		